

○井神議長 通告6番目、10番、田畑昭二議員、総括方式で質問願います。

田畑昭二議員。

○田畑議員 10番、田畑昭二です。議長の許可を得ましたので、さきの通告に従いまして、総括方式で3点質問いたします。

まず1点目は、岩出駅前通りの活性化についてであります。

一乗閣を初め、ねごろ歴史資料館の完成を初め、根来周辺の観光事業の進捗は目覚ましいものがあり、今後大いに期待されるところであります。しかし、当市の南側に位置するJR岩出駅周辺も、観光事業にとっては、今後大切な位置を占めております。最近の傾向として、駅前通りや周辺の空き家が多くなってきており、その実態と対応はどのように考えているか、お答えをお願いします。

また、その空き家などを有効利用し、にぎわいの一助として、B級グルメ等の飲食店や集客力の見込める出店希望店に対し、市として助成をしてはどうか、お尋ねいたします。

また、活性化のためには、顧客の駐車場が必須であります。現在は皆無の状態であり、岩出公民館の駐車場を安価な有料コインパーキングにし、公民館利用者には無料にし、市の資源の活用を考えてはどうだろうかと要望いたします。

また、そして観光及び商業の活性化には、商工会や観光協会も大切な団体であり、とりわけ観光協会は、現在、ボランティアの方々に頑張ってもらっております。しかし、今後、現在の体制では対応し切れないと思われまますので、組織の充実と体制の強化も必要ではないでしょうか。

ぜひとも、今後の観光事業を考える上で、いずれも大切な要望でありますので、前向きに検討いただきたいと思います。

2点目、医療用ウィッグの助成についてお尋ねします。

国立がん研究センターの最新のデータによりますと、日本では、生涯でがん罹患する確率は、男性で約60%、女性で約45%と言われております。つまり、おおよそ2人に1人はがんになる可能性があることになります。当市においても、がん検診やさまざまな施策によって、早期発見・早期治療に取り組んでいただいているところであります。こういった多施策に加えて、現在、がんと闘っている方への支援の1つとして、抗がん剤治療等によって脱毛が生じた方への精神的苦痛の緩和の一助として、ウィッグ、いわゆるかつらの購入費用の一部の助成はできないか、お尋ねいたします。

3点目に、当市の消防団の活動と消防車についてお尋ねいたします。

常日ごろ、消防団の方々には、有事の際、大変お世話になり、市民の皆様も感謝し、私も大変ありがたく思っております。

そこで、消防団員数及び組織と、その主だった活動はどういったものがあるか、お答えください。

また、消防車の配置はどのような形で配置がなされ、老朽化した車に対し、市はどのように助成されているのでしょうか。また、近年、その助成方式も変更になったと聞いておりますが、その点を詳細にお答え願いたいと思います。

以上です。

○井神議長　ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長　田畑議員ご質問の１点目、岩出駅前通りの活性化についての１点目、２点目、４点目についてお答えします。

１点目の駅前通り及び周辺の空き家状況でございますが、本年度、市職員により、岩出駅前通り及び大和街道沿いを対象として、目視調査を行ったところ、25軒の空き家・空き店舗を確認しております。これら物件のうち活用の見込まれる空き店舗が11軒あり、そのうちの７軒の所有者から今後機会があれば貸し店舗等として活用していきたいなどの回答を得ました。

次に、２点目の空き家などを利用した駅前活性化につきましては、貸し店舗等として活用したいとの意見もあることから、商工業、観光、まちづくりなど、多様な観点から取り組んでいく課題であると認識しております。これに対する助成につきましては、現在、市と岩出市商工会が連携して、産業競争力強化法に基づく、創業支援に取り組んでいるところであり、一定の条件を満たせば、中小企業庁から、創業・第二創業促進補助金を受けることができる制度がございますので、創業の際にはご利用いただけます。

次に、４点目についてお答えします。

議員ご質問のとおり、岩出市観光協会は、市の観光振興に欠かすことのできない重要な団体であると認識しています。来る４月１日にオープンする、ねごろ歴史資料館並びに旧県議会議事堂などを中心とした、ねごろ歴史の丘を観光の拠点としての利活用のため、また、岩出市全域での観光振興を図ることを目的として、現在、岩出市観光協会、岩出市商工会、ＪＡ紀の里、根来寺など、市の観光にかかわる各種団体等で、観光振興団体の設立準備が進められています。岩出市観光協会には、この中心的な役割を担っていただく必要があります。

観光地域づくりを実現するためには、各種データ等の収集・分析、データに基づく戦略の策定など、観光振興団体の中心として、かじ取り役となるべき人材の育成が不可欠であり、市も積極的に支援を行い、組織の確立、充実、体制の強化を図っていくものであります。

○井神議長 教育部長。

○秦野教育部長 田畑議員ご質問1番の3点目、駐車場についてお答えいたします。

岩出駅周辺には、個人が営む貸し駐車場やコインパーキングが存在してございます。また、岩出地区公民館の駐車場につきましては、公民館利用者のために設置されたものであり、公民館利用者との選別や管理運営などの問題点が多く、現時点での計画はございません。

○井神議長 生活福祉部長。

○杉原生活福祉部長 田畑議員ご質問の2番目、医療用ウィッグの助成についてお答えいたします。

医療用ウィッグ購入費助成制度につきましては、山形県において、抗がん剤治療の副作用で起きる脱毛に悩む患者に向けて、がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の向上を図るため、平成26年4月から全国で初めて導入されたと聞いております。

現在、国のがん対策推進基本計画においては、がん患者の就労を含めた社会的な問題が取り上げられており、就労や社会参加と療養生活との両立は重要なことと考えております。

本市といたしましては、医療用ウィッグの購入費助成制度は新しい取り組みであることから、先行自治体における効果等を踏まえて研究するとともに、和歌山県や近隣市町村の動向を見て、必要に応じ検討してまいりたいと考えてございます。

○井神議長 総務部長。

○佐伯総務部長 田畑議員ご質問の3番、消防団の活動と消防車についてお答えいたします。

1点目の消防団員数及び組織と、その主だった活動についてでございます。

平成28年1月1日現在の消防団員数は330名で、団長1名、副団長2名のもとに、岩出、山崎、根来、上岩出の各地区に、分団長、副分団長を各1名を置き、その下に26の部隊を組織してございます。主な活動といたしましては、火災発生時の消火活動や大雨などによる災害出動はもとより、春季・秋季の全国火災予防運動期間中のレッドパトロールや防火啓発活動、年末警戒、1日防火デイ、地域防災訓練への

参加のほか、各地区での消火訓練活動など、昼夜を問わず献身的に活動いただいております。

次に、２点目の消防車の配置についてでございますが、部隊に各１台、合計２６台の車両を配備してございます。

次に、３点目の消防車に対する市からの助成についてでございます。

平成２４年度までは、地元での購入に対し、市から補助金を支出しておりましたが、市で購入し、貸与してほしいとの要望が寄せられていたことから、平成２５年度に制度の見直しを行い、計画的に年式の古い車両を更新すべく、毎年２台ずつ、軽四車両を購入し、貸与しているところであります。

ただし、更新時期が数年先になる部隊では、地元での購入を希望するところも一部にあったことから、平成２５年度から平成２７年度までの３年間は、市からの補助金制度を残して運用してきたところであります。

今後も計画的に消防団車両の更新を行い、消防団装備の充実強化を図ることにより、市民の安全・安心に寄与してまいりたいと考えてございます。

○井神議長 再質問を許します。

田畑昭二議員。

○田畑議員 まず、１点目の岩出駅前通りの活性化についてであります。現在、岩出駅のバリアフリー化につきまして、ちょっとお聞きしましたら、ＪＲのほうでエレベーター棟を設置するに際し、地質調査を今現在行われておるということで、遅かれ早かれ、かなりすばらしいバリアフリーが完成するんだろうと思います。それに合わせて、恐らく、岩出駅として非常に大事な位置を占めてくるんだろうと思います。

そういうことで、先ほども答弁いただきましたが、実は和歌山県に観光に来られている方の人数、びっくりしました。３，０００万人だそうです。そのうち宿泊されている方が５００万人、和歌山県に来られているそうです。大変な方が、年々ふえているそうなんです、観光客の方が。だから、恐らく、南紀のほうが中心だろうかと思います。また、高野山等のそういうところなんだと思いますが、その中でも、やっぱり岩出というのは、先ほどからいろんな質問にもありましたように、和歌山県としての玄関口でもあります。地の利は非常に高いものがございます。あとは、岩出の地の利プラス希少価値といいますか、付加価値のついた何かを提供していくというものが、これから大事になってくるんだと思います。

そういうことで、こういう提案をさせていただいているわけでございますが、残

念なのが、公民館は公民館の駐車場として当然利用するというお話であります。それは当然当たり前なんですが、市の社会資源の活用という観点から、それはいろんな条例があり、また、いろんな制約等々があって難しい部分もあるかとは思いますが、その辺を市としていろいろ駆使をしていただいて、観光客の利便性に役立つような、ひいては、それが市全体としての税収につながっていくところになるわけですから、その辺も、これは公民館だからというよりも、公民館の方は公民館で利用を十分していただくような配慮をしながら、24時間体制で駐車をできるような、そういうところをやると、あの駅前がうんと利便性が変わってくるわけですね。そういうところ辺も、これから恐らく絶対に必要じゃないかなと思います。

それと、観光協会の件ですけど、観光協会、先ほど、体制の強化を図っていかねければならないと、また、組織の充実を図っていくという答弁ありました。ちょっと私調べました。観光協会の他市、和歌山は別格でしょうけど、和歌山市は18名、観光協会の職員がいらっしゃって、うち市の職員のOBが1名ということですね。海南市は市の職員が2名です。橋本市は観光協会の職員が3名です。有田市の観光協会は市の職員が3名、御坊市は市の職員が1名プラス観光協会の職員があと2名いらっしゃるということです。田辺観光協会は市の職員が1名で、ほか11名いらっしゃるということですね。そのように、大体、市の職員の方が1名ないし2名、やっぱり張りついて、観光協会の職員と一緒にあって、いろんなことを発信したり、また考えて動いていらっしゃるようです。

ということで、岩出の場合、先ほども言いましたように、ボランティアの方だけで対応し、観光協会の職員はゼロであります。商工会の職員の方が兼務をなさってやっているということで、市が補助金を出して運営をしていただいているという、そろそろ本格的に観光協会として動いていただく体制強化が図られなければいけない時期に来ているんじゃないかなと。また、一乗閣の中にも観光協会の拠点として配置する可能性も十分考えられますから、その辺も、これから岩出市として考えていただきたいなと思います。

それと、ウィッグの件ですが、ウィッグは福祉部長が言われましたように、山形県下は全市町村、全部やっています。あと、主だったところでは、秋田県の能代市とか、岩手県の北上市とか、神奈川県の大和市とか、佐賀県の伊万里市とか、大体1万円から3万円ぐらいの助成をしているようでございます。あるところは、所得制限をかけているところもあります。そういうことで、このウィッグというのは大体1万円から50万円、非常に幅の広いものだそうです。

そういうので、先ほども部長言われてましたように、どうしても抗がん剤を打ちながらお仕事をやらなければいけないという、そういう方が結構多いみたいです。そういった方も、やっぱりなかなか頭が全部毛が抜けてしまって働きに行けないという方は、どうしてもこういうものが必要になってきます。そういうことで、全額というにはいきませんが、お見舞い程度のもんでありますけれども、頑張っていたきたいということで、一度、また研究、検討していただけたらと思います。

あと、消防団のほうですが、年に2台、軽自動車の消防車をこれから貸与していくということなんですが、以前は普通車に対しても助成がなされておったということです。それが補助金のあれが変更になって、これからは現物、車を貸与して、普通車には助成しないというふうに変更になりました。3年間は猶予期間として、一応見てましたということで、そういうことであるんですが、中には、どうしても普通車で対応したいという、そういう自治会もあるようでございます。

その辺で、軽と普通車との違いというのは、恐らく、乗る人員の確保の人数が違うので、その辺で、例えば、那賀消防で消した後に、消防団の方が、あとぼやにならないかどうか見守りをされているようです、3時間なり4時間なりずっと。そのときに非常に寒いときであったりとか、非常に暑いときであったり、そういったときに、やっぱり軽自動車ですと、お二人に限定されてしまいますんで、あとの方は外で待ってるというか、その辺では普通車で待っていると4人から5人ぐらい乗れるそうなんですけども、その辺の関係かどうかわかりませんが、中には普通車のほうがいいんだよなという、そういう班の方もいらっしゃるようでございます。

その辺で、補助が変わったというところ辺の説明は、軽を2台貸与にしたと。なぜ、そういう体制が変わったのかというところ辺をもう一度説明いただきたいなと思います。

以上です。

○井神議長　ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長　再質問にお答えします。

まず、観光協会への職員への張りつけというお話があったと思うんですが、現在のところ、事業部の人員にも余裕がありませんので、職員の張りつけというのは考えておらないんですが、先ほどお答えしたとおり、岩出市の観光振興を図る目的として、今、観光協会、商工会、JA紀の里、根来寺などで、観光振興団体というのをつくろうとしています。もちろん、その中にはやる気のある方もいらっしゃるま

すし、市も積極的に関与していきたいと思っていますので、ご理解いただきたいと思います。

○井神議長 教育部長。

○秦野教育部長 駐車場の件について、再質問にお答えいたします。

議員ご提案のように、玄関口として集客を考えた事業展開を考えていくようになれば、駐車場は必要になってくると思います。それにあわせて検討が必要になるかなと考えます。ただ、先ほどもお答えしたとおり、公民館利用者のために設置したものであるということ、あるいは地元根づいた施設という意味合いから、地元への行事に貸し出しを行ったり、保育所や小学校に貸し出しを行ったり、駅前ライブラリーの利用者の方にもご利用いただいている、こういったことから現時点では難しいと考えております。ご理解、よろしくお願いします。

○井神議長 生活福祉部長。

○杉原生活福祉部長 田畑議員の再質問にお答えいたします。

基本的な考え方は、先ほどお答えしたとおりで変わるところはないんですが、がん患者の皆さんというのは、やはり痛みや吐き気といった、いわゆる症状よりも、外見の変化のほうが、やはり苦痛に感じている方が多いようにというふうに聞いてございます。そういう意味で、就労や社会参加と療養生活の両立というのは、やはり必要やというか、大切であると。そういう意味での一助として、今回、ご提案いただいているウィッグの助成という部分になるのかなというふうに考えてございますが、現在、市のほうでは、いわゆるウィッグに関してのそういう意見要望というんですかね、そういうものは、ちょっと今まで聞いてはないという事情もございます。

したがって、お聞きして、すぐに、はい、わかりましたというわけにはいかないということで、先ほどから申し上げましたように、県や近隣市町村の動向、そういうようなものを見ながら、また、実際、先行自治体で、もう既に導入されているところはございますので、そういったところの経緯、そういうようなものも踏まえた中で、必要に応じて検討はしていきたいと、このように考えてございますので、ひとつご理解いただきたいと、このように思います。

○井神議長 総務部長。

○佐伯総務部長 田畑議員の再質問にお答えいたします。

まず1点目ですけれども、市からの助成についてですけれども、先ほども答弁させていただいたとおりなんですけれども、平成24年度までは、地元での購入に対して、市

から補助金を支出していました。補助金は3分の2です。市で購入してほしい、貸与してほしいと、こういう要望が自治会あるいは消防団のほうから寄せられたことから、平成25年度に制度を見直しして、計画的に古い年式の車両から更新すると、こういうことになりました。

次に、普通車でなくて、なぜ軽四輪車両になったのかについてです。軽四車両につきましては、岩出市内の道路整備は進んでおるわけですが、道路幅の狭い箇所も一部にありますので、その辺のところを勘案すると、機動力のある軽四車両と、こういうふうに考えました。

次に、普通車、軽四車両の配備の状況なんですけども、普通車については機動隊、4つ機動隊ありますが、機動隊には普通車両を配備します。その他の部隊については軽四車両ということになります。軽四車両につきましては、車内に2人、それから車外の運転席・助手席後部に2人、合計4人の乗車ができると、こういうことになってます。

ご質問にあるように、火災とか鎮火後の見守り、それから風水害等の現場待機などにおいては、非常にご苦勞はかけますけども、機動力や、それから道路幅、こういうふうなものを勘案しますと、軽四車両で対応していきたいということでもありますので、ご理解いただきたいと思います。

それから、車両については、4人でしたら不足する場合もございますので、これは従来も同じですけども、全員が、その車に乗れるというわけじゃないので、あとは別車両として使用していただくと、こういうことで対応を指導しているところがあります。

○井神議長 再々質問を許します。

(なし)

○井神議長 以上で、田畑昭二議員の一般質問を終わります。